

天然力の活用等による針広混交林化の推進 ～人工林に介在する天然生広葉樹の更新拡大メカニズムの検証～

1 趣旨

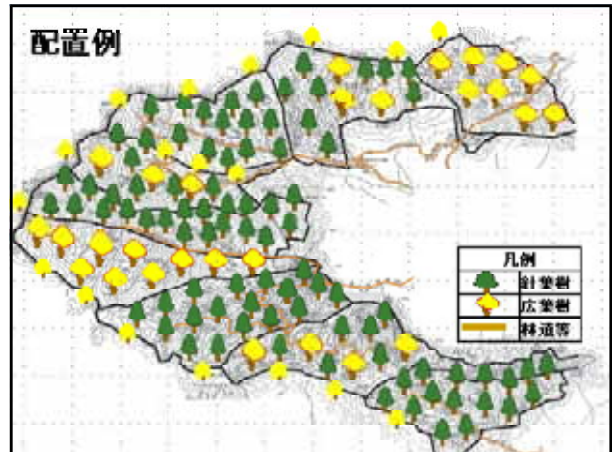
公益的機能をより高度に発揮させる観点から、自然的、地理的条件等地域の実情に応じて、人工林を複層林や針広混交林へ誘導していくことが課題となっています。

人工林の針広混交林化は、間伐や択伐により光環境を改善し広葉樹の導入を図ってきたところですが、必ずしも確実な技術として定着してなく、種子供給源となる広葉樹の配置状況や種子の供給手段等を十分に考慮した施業技術の確立が重要な課題となっています。

このため、森林技術センターにおいて、人工林内にある広葉樹の樹下及び周辺の区域における天然生稚苗の発生・生育メカニズムを調査・解析することとします。

2 試験内容

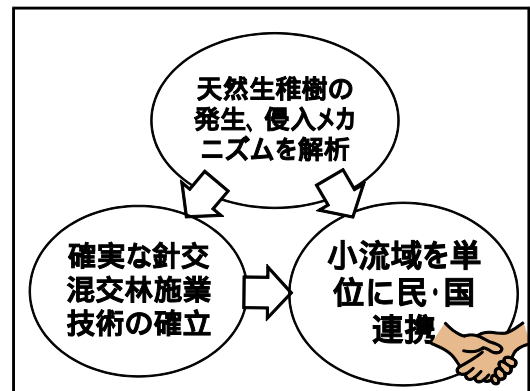
人工林に自然に侵入したの広葉樹を保残した伐採跡地に試験地を設定し、広葉樹の保残状況(多い、少ない、ほとんどない)により3区域を設け、それぞれの区域毎に調査プロット(10箇所)を設定します。



3 調査内容

- 伐採前の広葉樹の侵入状況を推測するための伐根調査等
- 伐採後の母樹の密度・配置状況
- 周辺の種子供給源の配置状況
- 稚樹の発生・侵入状況
- 発生稚樹の消長調査等

また、針葉樹一斉林、広葉樹林、針広混交林のそれぞれの将来的な推移予測に基づき、路網配置や施業のあり方を考慮した全体の配置の可能性を提示し、それらについて機能の評価を行うこととします。



4 試験地概要

- ・岡山県北西部に位置する古谷国有林
三室701い2林小班
- ・面積0.42ha
- ・伐採跡地(平成19年11月搬出)
- ・伐採前の林況は高木性広葉樹が混在したヒノキ林

5 実施主体

森林技術センター
(森林総研関西支所、岡山大学、
岡山県林業試験場との共同研究)

問い合わせ先
近畿中国森林管理局
指導普及課
担当：白角
TEL 050-3160-6751